

令和6年度協働事業提案制度 提案概要

(提案企画書から転記)

事業名	北広島こども元気UPサポート事業
団体名	北広島こどもの成長を考える会
事業概要	<p>この事業は、見た目では分からない「亜鉛」や「鉄」というミネラルの不足を「血液検査」によって把握、その不足を補うことで北広島市に住む子供たちの「学ぶ」「遊ぶ」の元気UPをサポートし、自立する力を育むことを目的にしています。特に発達障害と呼ばれる状況にある子供たちに一刻でも早く提供したいプログラムです。</p>
協働の必要性	<p>想定される対象者が多く、個人レベルでの情報提供は困難である。 また、教育の経済格差が顕在化している現在、栄養状態にも格差が生じている可能性があり、目にみえない「栄養失調」によって教育機会の均等を欠く可能性があります。客観的な血液データによって不足栄養の補正をすることで、こどもの個性を発揮できる環境を提供することは、行政が担う必然性があると考えます。</p>
役割分担 及び 協働の効果	<p>□ 団体が担う役割／団体にとっての協働の効果 ① 市民への説明会 ② 血液データに基づくアドバイス ③ 個人の状況に応じた対応</p> <p>■ 市に期待する役割／市にとっての協働の効果 対象児童を持つ家庭へのPR。血液データに基づく「栄養失調症」改善プログラムの内制化。客観的なデータにより、将来的には児童だけではなく、妊婦又は妊活時への導入。高齢者の健康維持に拡大が可能。効果としては、子育て支援の街として市のイメージUPと移住促進。アンビシャスシティの実践として北広島ブランドを全国に発信。</p>
団体の目的	<p>会は子どもの成長に、摂取する栄養が大きな影響を持つこと、中でも広島県廿日市市在住の藤川徳美医師の提唱する「隠れ貧血」に着目し、医師が展開する栄養療法に関する研究と、北広島市民等に対し広く情報を提供することが主な目的</p>
過去の活動実績	<p>平成元年11月に大曲ゆめプラザで勉強会を開催。近年では北広島市議会議員に感想を伺い、本事業の紹介を受け申請に至る</p>
市関係希望部署	保健福祉部、子育て支援部